

令和7年11月18日
健康政策課健康づくり・糖尿病対策G
担当 遠山・南部(内線:3364・3133)
電話 087-832-3273

慢性腎臓病(CKD)重症化予防対策研修会を開催します

成人の約8人に1人が患者とされる慢性腎臓病(CKD)。CKDは腎臓の機能が低下し、たんぱく尿などの腎臓の異常が続く病気です。CKDの初期は自覚症状がほとんどないため、気づかず症状が進むと、透析治療や腎移植が必要となるリスクが高まります。今回、患者やその支援者の声を通して、職場におけるCKD対策を中心に研修会を開催します。

慢性腎臓病(CKD)重症化予防対策に係る保健事業担当職員等研修会

日時：令和7年12月17日（水）13時30分～16時00分

場所：香川大学医学部附属病院福利厚生施設2階 マルチスペース
(木田郡三木町大字池戸1750-1)

※WEB配信同時開催

対象：事業所の健康づくり担当者、産業医、産業保健師
CKDに興味のある方

内容：①働き盛り世代へのCKD対策

（講師）香川大学医学部附属病院腎臓内科 祖父江 理

②シンポジウム

CKD対策療養指導への取組、これからの方針性

〈療養指導における課題とその対策〉

（香川県国民健康保険団体連合会保険者支援課／全国健康保険協会香川支部保健グループ／かがわ療養指導士の会）

費用：無料

主催：香川大学医学部附属病院（香川県慢性腎臓病対策協議会）

後援：香川県・香川県医師会・香川県保険者協議会・NPO法人日本腎臓病協会

申込：参加を希望する場合は次の二次元コードからお申ください。



その他：詳細は別紙実施要領をご参照ください。